



石川社協だより

第26号

事務局：石川市民センター内
電話 252-2989

水戸市社会福祉協議会石川支部



みんなが笑顔「なかよしサロン」

今年度は5回開催し、楽しい時間を過ごすことが出来ました。次回は4月26日（金）に開催する予定ですので、ぜひご参加ください。参加費は無料です。



みなさんの笑顔が見たいから、今年度も当支部の活動にたくさんのご協力をいただき、厚く御礼を申し上げます。おかげさまで何とか石川地区の福祉活動を停滞させずに続けられたと、正直ほっとしています。

そんな中、元日に起きた能登半島地震は私たちに十二年前のいろいろな教訓を思い出させてくれました。そして改めて人と人との絆や地域のつながりの大切さを再認識することもできました。特に災害が起きると社会福祉というテーマがクローズアップされます。そんな中で「地域の中に笑顔がある」ということがいつまでもそんな地域でいられるよう、これからもみんなが楽しく活動していきたいと思えます。来年度も引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。



水戸市社会福祉協議会石川支部
支部長 三宅 秀一

ふれあい昼食会 12/3 市民センター



今回で32回目となるふれあい昼食会を開催しました。75歳以上の一人暮らしの方を対象にした行事で、54名の方の参加がありました。以前はホールを使い、アトラクションを観ながら参加者全員で会食していましたが、コロナ以降はお弁当を取りに来ていただく形に

なっています。クリスマス前という時期でもありましたので、会場内にツリーなどの装飾を施し、クリスマスソングを流すなど賑やかさを演出してみました。

この日は天気も良く、事前にお申込みいただいたほとんどの皆様がお弁当を取りに来られました。受付を済ませた後には商品券や日用品が当たるお楽しみ抽選会のコーナーがあり、どの来場者もくじを引いて一喜一憂していました。

本来であれば一堂に会して行う昼食会がいいのですが、市民センターの都合などから（下記参照）、来年度も難しいかも知れません。どのような形になるか今現在は決まっていますが、よりふれあうことのできる行事にしたいと思います。



令和5年度もおかげさまで様々な行事を行うことが出来ました。コロナの影響もなくなりつつあり、以前のような活動を取り戻しています。

その反面、コロナ禍での様々な制限により、価値観が変わったものも少なからずありました。今ままで当たり前だと思っていたものが、実はこうしたほうが良かったとかこれは無駄だったとか。そういった意味では、コロナも悪いことばかりなかったかも知れません。

これまでのやり方にとらわれず、これからもより良い活動をしていきたいと思えます。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

編集後記



市民センターの改修工事が始まります

石川市民センターの大規模改修工事が6月ごろから始まり、年度内いっぱい掛かる予定です。その間市民センターの使用が一切できなくなりますので、市民センターで行ってきた当支部の行事も別の場所でやるなどの対応をしなければなりません。

令和6年度の行事につきましてはその都度お知らせしますので、よろしくお願いいたします。

令和6年度の町内会長の皆様へ

令和6年度の総会は、5月26日（日）に石川市民センターで開催する予定です。詳細は後日、ご案内いたします。会長の皆様には、町内会ごとに社会福祉協議会会員会費の取りまとめをお願いしています。お手数をお掛けしますが、よろしくお願いいたします。

スマイルコンサート 兼 福寿のつどい



第6回石川スマイルコンサートと令和5年度石川地区福寿のつどいを一つの行事として開催し、来賓の水戸市長をはじめ約260名の方にお越しいただきました。スマイルコンサートは、県警音楽隊にご出演いただきました。昨年もお祝いしましたが、諸般の事

情により1週間前にキャンセルとなつてしまい、2年越しの出演となりました。色々な世代が楽しめるように幅広い選曲をしていただき、参加者は素晴らしい演奏に聴き入っていました。ラップに乗せて交通安全の啓発をする曲などもあり、楽しみながらもためになったかと思えます。福寿のつどいは、75歳、80歳、85歳および90歳以上の方を対象にご招待しています。地区内671人の方にご案内をしましたところ、この日は約150名の方にご参加いただきました。コンサートを楽しんでいただき、来場記念品をお配りしました。コンサート終了後には、お楽しみ抽選会やじゃんけん大会を行い、とても盛り上がりしました。来年も楽しみにしててください。



とき 令和5年9月17日(日) ところ 石川小学校 体育館

今年度は県警音楽隊の演奏が聴けました。

今年度も石川小学校・石川中学校にお子さんのいるひとり親世帯を対象に食料品の支援を行いました。3回目になります。事前に小中学校に案内文書を配付し、希望者には事前にネット経由でお申込みいただきました。用意した食料品は、おもち、缶詰、レトルトカレー、乾麺、お菓子などで、15世帯にお配りしました。



ひとり親世帯支援 12/17 市民センター

協会 講演

楽しいお話が聞けました。

名字研究家・高信幸男先生の講演会

とき 令和5年7月2日(日) ところ 市民センター ホール



日テレ「沸騰ワード10」やNHK「いば6」などでお馴染みの司法書士で名字研究家の高信幸男さんをお招きして講演会を開催いたしました。コロナ前に行った気象予報士の向笠康二郎さんの講演会以来、4年ぶりの開催でした。高信さんは高校生の時に名字に興味を持ち始め、長年法務省の官

僚として戸籍事務に携わりながら50年以上に渡り名字を研究されてきました。現在は退官し、となりの堀原地区にお住いということもあり、今回快く引き受けて下さいました。「名字の謎を解く！名字の歴史と由来」という演題でお話しいただきました。日本の姓の数は約3万ともいわれ、世界にも例を見ないそうです。その土地などに由来する名前が多い反面、明治時代に至るまで人が姓を持たなければならぬようになった時には割と多い加減なものもあったとのこと。吉成という名字は、結城と名乗っていた一族がその出所を知られなくないために、それぞれの字のへんを取ってつくりただけで作ったという説もあるなどといった大変興味深いお話も聞けました。茨城



は珍しい名字も多いとのこと、この日会場に来ていた「高麗さん、古小高さん、諏訪原さん」などの名字のルーツなども教えていただきました。とても面白く楽しいお話が続きました。予定時間があつという間に過ぎてしまいました。もつと聞きたかつたという声もありました。

共同募金・義援金へのご協力ありがとうございました。

当支部の主催行事や地区内で多くの人が集まる行事の際に募金活動を行っており、今年度は4回実施させていただきました。

今年度は赤い羽根共同募金だけでなく、災害義援金としても集めさせていただきました。これからもご協力のほど、よろしくお願いたします。

ご協力いただいた金額

- 社協講演会 (7/2) 16,865円
- スマイル・福寿のつどい (9/17) 17,283円
- 市民運動会 (10/8) 11,186円
- 石川かぼちゃまつり (11/19) 9,628円

